今号の主な記事

2面 各地で申し入れ〈静岡/小名浜〉

神奈川県立海洋科学高等学校で 3 面 漁業ガイダンス〈三崎〉

4面 神戸港湾勤労者表彰式〈関西〉

買しんぶん

ージアドレスhttp://www.jsu.or.jp◆Eメールアドレスkaiin@jsu.or.jp 全日本海員組合発行第3055号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2024年(令和6年) 6月5日

本紙は毎月5・15・25日発行

〒104-0053 東京都中央区 晴海4丁目7番28号 ホテルマリナーズコート東京内 かくりデースコード 全日本海員組合本部 発行人 齋藤 洋 TEL 03-5410-8329 FAX 03-5410-8337

定価1部50円 (組合員の購読料は組合費に含む)

共同船舶株式会社

新造捕鯨母船

線水和光漢。







れ、設備の説明を受けた。

の格納庫など船内を案内さ

操縦性能も優れているので、

野島茂船長から「新造船で

板、操舵室、探査用ドローン 原嵩一等機関士から船内甲

から関鯨丸は、東北沖や北海

送られながら出港した。これ

に下関へ帰港する予定となっ 道沖で初操業の後、12月中旬

たい」との抱負が述べられた。 全に操業して無事に帰ってき 獲りきる責任も感じつつ、安 ともあると思うが、漁獲枠を る。これまでの操業と違うこ 丸は初操業なので、不安もあ 安心と期待感があるが、関鯨

関鯨丸は、家族や関係者に見

翌25日に出港準備を終えた



出港した。

員と執行部24人が参加し、 合長代行をはじめ 中央執行委 その1西側多目的埠頭におい 京有明にある江東区10号地 路目会が行われた。 本組合からは、田中伸 関係者を対象としたお披

5月24日、寄港地である東

ている。 祝 捕鯨母船「関鯨丸」初出





続いて、お祝いの式典に駆

東京港・有明から出港



郎下関市長の主催者代表あいさつの後、お祝いに駆け付けた来賓から祝辞が述べ 船長、古賀喜政機関長に花束が贈呈された。 られた。続いて、前田晋太郎下関市長から乗組員代表の阿部敦男船団長、 はじめ地元の自治体関係者など、 成した新造捕鯨母船「関鯨丸」の初出漁式(下関市主催) 5月21日、澄み渡った青空の中、下関市の岬之町埠頭において、本年3月に完 およそ100人が出席した。 が開催され、乗組員を はじめに前田晋太 野島茂

きます」と決意が述べられた。 って、クジラ文化を未来永劫 締役社長から

「全社一丸とな 英樹共同船舶株式会社代表取 下関市でお祝いの式典 続けるという覚悟で出漁して 関鯨丸の初出漁式では、

り、野島茂船長に手紙を手渡 の「うみ」を披露した後、 を揃え「大きな鯨を捕まえ の園児たちが、ダンスや童謡 け付けた下関市立名池保育園 てきてね」とメッセージを送 声

テープが渡され、家族や関係 込むと、船と岸壁の間には紙 はじめ乗組員全員が船に乗り 式典終了後、野島茂船長を

丸は寄港地である東京に向け 者が手を振り見送る中、関鯨 申し入れのようす

静岡県立漁業高等学園

県唯一の有人離島・初島

初島航路を走る

福島県

(第3種郵便物認可)

部品

=発信

静岡県へ

海上労働に関し政策要望



左4人目から山下啓道静岡県水産・海洋局長、森本雷行静岡支部長、松井優介静岡県議会議員、 杉山淳静岡県議会議員、杉山壱樹春海曳船副船内委員長

規を強く要請した。 |課長などからは次の通り 解が示された。 県も、その重要性を理解し 漁船員の後継者確保・育成 ご対応いただいた県の各担

ている。静岡県立漁業高等学 園の入学者数増加や、県立焼 津水産高等学校専攻科の定員 の政策諸課題は多岐にわた からこそ、抱える海運・船員 け、静岡支部は引き続き取り

海の恩恵を受ける静岡県だ

清水港におけるタグ定係地

要望について申し入れを実施 県へ、海上労働に関する政策 **暨、杉山淳静岡県議会議員** た。林芳久仁組合政治参与 要望内容は①漁船員の後継

要望趣旨を説明の上、早期実 長から各部局担当課長などに ことを踏まえ、森本静岡支部 **奏動で県の担当者が交代した** 進③離島航路の支援―など。 **|確保・育成②港湾整備の**保 今回の申し入れでは、人事

県西部にある浜名湖は、南部 変化に富んだ海岸線を有し、 部、遠州灘の広大な砂泥域と、 宝庫で、生産性の高い漁場が 潮の恵みを豊かに受ける魚の ら沖合へと広がる海域は、黒 た汽水湖である。また沿岸か 組んだ岩礁域、駿河湾の の今切口で遠州灘とつながっ 深2500mにも達する湾口 静岡県は、伊豆半島の入り ③離島航路の支援 みの回収改善に取り組んでい 整備、田子の浦港での漂流ご の確保や熱海港での防舷材の

部長は杉山壱樹春海曳船株式

議会の設立を踏まえ、県と市 初島航路については、地域協 が連携し、航路の維持・活性 化に取り組んでいく。 県内唯一の離島航路である

保の対応。

<mark>)対応=髙橋伸英生活環境部</mark>

どを記載したリーフレット

り組んでいる。今後も継続し

子どもたちへは出前授業に取

向けに漁業体験を行い、就業

認識している。 高校生・一般 水産業界の後継者不足問題は

につなげる取り組みのほか、

船員における住民税減免に

学生全員へ配布している。引 を、参考図書として県内の小

▽海洋プラスチックごみにつ

ていきたい。

福島県・いわき市へ

全国発信記事

小名浜 支部

=発信

船員の住民税減免などを 求めて申し入れ

業について学んでいる。 キャ ンア教育で職業体験を実施し ガに理解している。住民税の 労組んでいく。 こになっているので、 学5年生の授業内容で水産 いは各市町村が判断すると 海に親しむ活動について いて、申し入れの内容はて 般廃棄物課長

ている。出前授業などのプロ ~海洋プラスチックごみへの

点では難しいが、他の自治体

る。市としても日頃から、海について、重く受け止めてい ついて、税の公平性から特定 ▽船員における住民税減免に の恩恵の重要性を認識してい を優遇することは、現時

れを終了した。 体と意見交換を行い、申し入 継続していく。最後に両自治 組みを開始している。今後も に、他の自治体より早く取り

25日、いわき市へ4月24日 フスチックごみへの対応を求 船員の住民税減免の実施、海 に親しむ活動の推進、海洋プ 小名浜支部は福島県へ4月 みが魚介類に与える悪影響な 理も継続して行っていく。ま 漂着するごみの清掃・回収処 過去から行っている。海岸に みを発生させない取り組みを ごみはリサイクルを行い、ご た、マイクロプラスチックご について、プラスチック

の動向を注視しながら検討し

▽海に親しむ活動について

き続き県民へ周知していきた

や製品プラスチック回収など いて、市として、レジ袋削減

▽貴組合からの申し入れ内容 心=西丸巧農林水産部長

対応を求め、申し入れ活動を 船員の諸課題へ、実効性ある 小名浜支部は今後も海運・



左から髙橋雅幸東北地方支部長兼小名浜支部長、西丸巧いわき市農林水産部長

の学科を設置。学科は船舶運

机科、水産食品科、 無線技術

(3)

工学科、情報通信科を設置 スとして、漁業生産科、

4月25日号に掲載)。

なった(詳細は船員しんぶん

から漁船船員を目指して就職

していく際の参考にしていた

を聞いて、生徒皆さんがこれ

本日は各漁業種の会社説明

攻科という2年間の上級クラ

ンスが、

100回目の授業と

3年間の高校生活後に、 専

生物環境科の4つ。

きた。3月に北海道小樽水産 魅力を伝えるために開催して 産高校・海洋高校で、漁師の

なされ、続けて海員組合から 育成センターから趣旨説明が

高等学校で開催されたガイダ

身合

科学高等学校で、一般社団法

(航海)•海技士 (機関)•無 している。各科では、海技士

校での漁業ガイダンスには、

神奈川県立海洋科学高等学

5月10日、神奈川県立海洋

ンスが開催された。参加した

ンターの主催する漁業ガイダ **人全国漁業就業者確保育成セ**

取得に向け人材を育成。 線従事者などの上級国家資格

5船主は生徒8人へ、待遇な

が総合実習、小型の「わかし

一が釣り実習などで活躍中。

実習船は大型の「湘南丸

久丸・有限会社廣屋・濱幸水 ろ漁業株式会社・株式会社長 住吉漁業株式会社・焼津まぐ

産グループの5船主と、学校

神奈川県立海洋科学高等学校

温業 ガイダンス

3年生3人、船舶運航科2年 側は生物環境科2年生2人・

生3人の合わせて8人の生徒

横須賀市長坂にある高校

県で唯一、水産・海洋系

ンターが2017年から、水

が参加した。

冒頭、全国漁業就業者確保

全国漁業就業者確保育成セ

しをわかりやすく伝えた。

三崎支部 =発信

神奈川県立海洋科学高等学 魚業ガイダンス開









支能実習生へ 会開



凍技術などについて説明を受 活、インターネット環境、 業種や漁法、漁船員の船上生 漁業者のブースで約8分、 ダンスが開始された。 だきたい」と述べた後、 ガイダンスに参加した生徒 3グループに分かれ、 ガイ

アンケートを実施し、ガイダ 会社の話に興味津々で、時に 社は丁寧に回答した。生徒は いった。最後に、生徒たちへ は驚きながら、理解を深めて 休日などについて質問し、会 生徒は、給料や労働時間、

全国発信記事

支部 =発信

4月17日、日南市漁業協同

生である。 **技能実習生向け講習** 日南市での講習に先立ち、

強いあいさつと自己紹介がな 技能実習生から日本語で、

る。柱を支えているのは地域 から伝わったとされ、今も昔 の漁業者と、外国人技能実習 **域経済の大きな柱となってい** いる。その漁獲量は、20年以 ながらの技術が受け継がれて 業は、約300年前に紀州藩 連続で日本一を達成し、地 日南市のかつお一本釣り漁

釣り漁業)技能実習生6-組合研修室で、新たに入国し に漁船漁業

(近海かつお一本 日南かつお一本釣り漁業

講習会を開催した。

場合の対応や備え―について

習生に「実習期間中に困った することなく、期間満了でイ 組合に相談を。病気やけがを 頑張っていただきたい」と激 ことがあれば、いつでも海員 ンドネシアに帰国できるよう 講習を終了した。

鹿児島





ファイザル職員がインドネシ 動・歴史を説明。組合本部の の大規模自然災害が発生した 災害補償▽船内秩序─などに 料その他の報酬▽安全衛生や 執行部が全日本海員組合の活 された。その後、鹿児島支部 ついても理解を深めた。また ア語で通訳し▽労働協約の給 ・実習中の注意点♡地震など

より、候補者の登録を抹消したので告示する。

一、次の者は、全国委員選挙規則第12条C項2号に

和期全国委員選挙候補者の登録抹消告示

2024年6月5日

中央選挙委員会

議長

齋藤

洋

〈通認識を図った。 最後に、執行部から技能実

員資格を喪失したので告示する。

《企業区・企業単位》

一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委

39期全国委員の資格喪失告示

078 中部地区沿海Bグループ

案

祐介

《企業区·企業単位》

39期全国委員・補充選挙の告示

080 中部地区沿海Bグループ

祐介

示する。 第39期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告 規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、

《選挙単位コード・単位名》 一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員

二、補充選挙の実施日程 企業単位 080 中部地区沿海Bグループ 地方単位 $_{4}^{0}$ 2024年6月5日より 1 名名

立候補雇出期間

2024年6月4日まで

投票期間 候補者告示 2024年7月14日まで 2024年6月15日より 2024年6月15日

三、補充選挙の被選挙人 当選人告示 2024年7月15日 (予定)

全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示 地方区

資格を有する執行部員とする。日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙

全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示 (2) 企業区

員とする。 日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組合 立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定 四、立候補の届け出

出すること。 五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先 中央選挙委員会事務局(総務部)

上

好好

観客数を記録し会場は賑わ

児ったが、約15万7千人の

監告島地震で被災された方

今年のオープニングでは

(が一日も早く日常を取り戻

=発信

第51回神戸まつり

海上輸送の 重要性をアピール



開催され、当日はあいにくの 第5回神戸まつり(おま) クエストに応え、多くの観客 り、時にはキリッとした表情 こうわれらの未来」の横断 毎年恒例の一うみ・みなとの ☆の濵﨑宏規職場委員と上原 「馬執行部員が笑顔で手を振

ぐそばにあり、他の都市には 展してきました。特に神戸 **囲を海に囲まれています、私** %以上が船で運ばれているこ こをご存じですか。 日本は周 たちの生活・文化や産業の多 海と港が普段の生活のす

文化が発展 港まち神戸

神戸港の発展に貢献した 塗木宏明がの功績をたたえる





ある「おまつりパレード」で

まつりのメインイベントで

は、これから開催される「神

[2024世界パラ陸上競技

港に足を運び、素敵な

翔の刻」を打ち響かせ、 スタ







戸まつりの成功を祈った。 中、船員を代表して浦隆幸関 繁栄の八点鐘」を響かせ、神 スホールで、関係者が見守る すますの発展を願い「神戸港 四地方支部長が、神戸港のま その後、同施設エントラン 戸港の繁栄、安全を祈願し 事が執り行われ、出席者は神 全祈願祭が挙行され、宮司に

よる献饌や神楽奉奏などの神

の行事」として「第54回神戸 シスで神戸まつりの一環「港 4月16日、神戸ポートオア

港湾勤労者表彰式」が開催さ 者の中から、神戸港の発展に り神戸港で働く神戸港湾勤労 水先区水先人会の塗木宏明さ 具献した25人が表彰された。 海員組合員からは、大阪湾 式典では、20年以上にわた

神戸港の発展のために貢献し 「このような賞をいただけた ていきたい」と語った。 久元喜造市長から表彰状と記 ことに感謝している。今後も たたえられた。 念品が手渡され、その功績を んが永年の功績を認められ、 式典に続き、みなと繁栄安 表彰を受けた塗木さんは